

●韓国

マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が7月26日に公表した2018年第2四半期の成長率（速報値）は、季節調整値で前期比0.7%となり前期の同1.0%から低下した。需要項目別に見ると、内需では最終消費支出は同0.3%で前期の同1.1%から低下した。固定資本形成は、同▲2.7%で前期の同2.0%からマイナスに転じた。その内訳では、建設投資は同▲1.3%で前期の同1.8%からマイナスに転じた。設備投資は同▲6.6%で前期の同3.4%からマイナスに転じている。外需である財・サービスの輸出は同

0.8%で前期の同4.4%から減少している。

2018年第2四半期の鉱工業生産指数の伸び率は季節調整値で2.7%、前期の▲1.2%からプラスに転じた。月次では、季節調整値で6月に前月比▲0.7%、7月に同0.4%となっている。

2018年第2四半期の失業率は季節調整値で3.8%であった。月次では、6月は3.7%、7月は3.8%となっている。

2018年第2四半期の貿易収支は、318億ドルの黒字、月次では6月に100億ドルの黒字となっている。

2018年第2四半期の対ドル為替レートは、1ドル=1080ウォンで、月次では6月に同1096ウォン、7月に同1123ウォン、8月に同

1121ウォンと推移している。

2018年第2四半期の消費者物価上昇率は、前年同期比1.5%あった。月次では6月に前年同月比1.5%、7月に同1.5%、8月に同1.5%と推移している。2018年第2四半期の生産者物価上昇率は2.2%であった。月次では6月に前年同月比2.6%、3月に同2.9%であった。

2018年及び2019年の経済展望

韓国銀行は7月12日に経済見通しを発表し、2018年の成長率を2.9%とし前回予測（4月）の3.0%から下方修正した。またこれは2016年の実績3.1%を下回る値である。また、2019年の成長率は2.9%としてい

る。2018年の成長率については、前半が前年同期比2.9%、後半が同2.8%として

いる。
2018年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.7%で2017年実績の2.6%を上回る。設備投資は1.2%で2017年実績の14.6%から大きく低下する。建設投資は▲0.5%で2017年実績の7.6%からマイナスに転ずる。外需である輸出は3.5%で、2017年実績の3.8%から低下するとしている。

2018年の失業率については3.8%で、2017年の3.7%から悪化する。雇用者数の増加は18万人で2017年の32万人から大きく縮小すると見込んでいる。2019年につ

いては、失業率は3.8%、雇用者数の増加は24万人としている。

一方、2018年の消費者物価上昇率は1.6%で、2017年の1.9%から低下すると予測している。2018年については1.9%としている。

韓米 FTA 再交渉

8月21日、金鉉宗産業通商資源部通商交渉本部長は、米国との韓米 FTA の再交渉が原則的に合意に達し、米国側の国内手続きが終了したため、9月頃に署名の見通しであることを明らかにした。また、金氏は米国が通商拡大法232条に基づき輸入自動車に対する追加関税を検討して

いることについて、韓国車は対象とならないとの見通しを示した。

米鉄鋼輸入制限の免除

8月29日、米国商務省は鉄鋼輸入のクォータ（割当枠）制で、一定の条件で韓国製鉄鋼を対象から除外する文書にトランプ大統領が署名したことを発表した。これは米国の鉄鋼が量や質で十分でない場合、輸入枠からの免除を申請でき、認められれば関税が課せられないものである。

ERINA 調査研究部主任研究員
中島朋義

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	17年 7-9月	10-12月	18年 1-3月	4-6月	6月	7月	8月
実質国内総生産(%)	3.0	3.3	2.6	2.8	3.1	1.5	▲0.2	1.0	0.7	-	-	-
最終消費支出(%)	2.2	2.0	2.4	2.9	2.8	1.2	0.9	1.1	0.3	-	-	-
固定資本形成(%)	4.2	3.1	3.8	5.2	8.6	1.2	▲1.2	2.0	▲2.7	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	0.7	0.2	▲0.6	3.0	2.3	0.9	▲0.2	▲1.2	2.7	▲0.7	0.4	-
失業率(%)	3.1	3.5	3.6	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.8	3.7	3.8	4.2
貿易収支(百万USD)	82,781	88,885	122,269	118,895	119,889	34,750	28,270	23,912	31,779	10,036	-	-
輸出(百万USD)	618,157	613,021	542,881	511,947	577,381	148,863	146,089	149,739	157,543	52,256	-	-
輸入(百万USD)	535,376	524,135	420,612	393,052	457,493	114,113	117,819	125,826	125,763	42,220	-	-
為替レート(ウォン/USD)	1,095	1,053	1,132	1,160	1,130	1,132	1,105	1,072	1,080	1,096	1,123	1,121
生産者物価(%)	▲1.6	▲0.5	▲4.0	▲1.8	3.5	3.4	3.0	1.3	2.2	2.6	2.9	-
消費者物価(%)	1.3	1.3	0.7	1.0	2.0	2.3	1.5	1.3	1.5	1.5	1.5	1.4
株価指数(1980.1.4=100)	2,011	1,916	1,961	2,026	2,467	2,394	2,467	2,446	2,326	2,326	2,295	2,323

(注)国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2010年基準
貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はf o b 価格
(出所)韓国銀行、統計庁他